



01 スターターは、ふるさと大使のアントキの猪木さん 02 藤田征樹選手を先頭にトップ集団 03 04 05 公道を封鎖してのレイクサイドコースを爽快に走る選手たち 07 08 ビット(交代エリア)で選手交代 09 ゲストライダーの土井雪広選手と鈴木真理選手 10 ロンドンパラリンピック銅メダリスト藤田征樹選手 11 会場内の全景 12 表彰式後の集合写真 13 ふるさと大使のオニツカサラーさんのライブステージ(この日ために作った新曲「エンデューロ」)

Camera Report

●レイクサイド・サイクルフェスタ
かすみがうらエンデューロ

霞ヶ浦湖畔を爽やかに疾走

10月13日、市民参加型の自転車イベントが開催され、「霞ヶ浦」が舞台の絶景レイクサイドコースで、約750人のエントリー者が秋晴れの日を楽しみました。

× イン会場の歩崎公園は「かすみがうらエンデューロ」のエントリー者の熱気でムンムン。県内を中心に北は北海道、南は愛知県から参加者が集まりました。ふるさと大使のアントキの猪木さんの開会宣言では、おなじみの「1・2・3・ダーツッ」の掛け声。レースは、霞ヶ浦湖畔の一周4.8kmの周回コースの4時間エンデューロ(耐久)と2時間エンデューロ。2時間エンデューロにはママチャリクラスも設けられ、アントキの猪木さんによる号砲とともに午前9時にスタート。約270チームが健脚を競い、日本百景にも選ばれる美しい湖岸沿いを一直線に駆け抜けました。



17 かすみがうら

文化協会加盟団体紹介

大正琴ひまわりの会

私 たちの会は、先生のご指導のもと月2回練習をしています。市内のイベントへの参加や老人ホームへの慰問活動をしています。敬老の日に老人ホームへ訪問し、演奏してきました。私たちの演奏に合わせて歌って和やかな一時を過ごしました。皆さんにとっても喜んでいただきました。



大 正琴の美しい音色を楽しんでみませんか。初めての方でも、一小節ずつ丁寧に教えますので、興味のある方は、ぜひ教室をのぞいてみてください。お待ちしております。

活動日◎第2・4土曜日 場所◎あじさい館

斉藤政子 ☎ 029-897-1084

市民学芸員

雑記帳

心のふるさと!温故知新

東 日本大震災を機会に、「絆」という言葉が使われ相互扶助による生き方を再認識するようになりました。この背景には、地域コミュニティの崩壊があり、知らず知らずに人間関係を軽薄に考えるようになったことがあげられます。

地 域には、人間性を育む力があり、その力とは、先人たちが築き上げた地域社会の情報(地域の魅力)であり、これこそが「湖山の宝」であると感じます。地域を知ると愛着が生まれ、共有する情報を通じ人との関わりが深まります。そこから地域コミュニティが再生され、日本人が忘れていた「相互扶助」、つまりは「絆」の精神が生まれていくのです。まさに地域を対象にした「温故知新」です。市民学芸員の会では、「かすみがうら市の地域力」を知ってもらえるようこれからもパンフレットの発行やイベントなどを開催し、明るく活力ある市になるよう努力したいと思います。

深井 征一郎

紫陽花俳句会

団栗を蹴る子拾ふ子通ふ徑
ぼそと落ち笑みか安堵か栗の穂
地味に咲き蠅もまじろむ花ハツ手
団栗に肩たたかれし立ち話

石塚文子(牛渡下郷)
大山岩男(下稻吉)
車田きみ(大和田)
萩原とし子(南根本)

文芸ひろば

詠歌の紹介
俳句

千代田俳句同好会

秋風の中なりダリア大きかり
秋の蝶十メートルの滑り台
色を愛で名を愛で巡り秋の薔薇
風平ら紅葉かつ散る城の跡

大西周(稻吉東)
大塚集人(新治)
飯沼礼子(上土田)
矢口三郎(稻吉東)

投稿作品

老犬が翁引き来る小春かな
木犀や樹下金環の午後の寺

田能幸雄(東野寺)
渡辺静江(稻吉東)

▼俳句・短歌の投稿は、秘書広聴課までお願いします